令和７（2025）年度　学生生活満足度調査結果

表中の略称について
NS：看護学科
CW：医療介護福祉学科

Ⅰ．調査時期、対象者数

１．実施期間：令和８年１月～２月（WebClass でのアンケート）

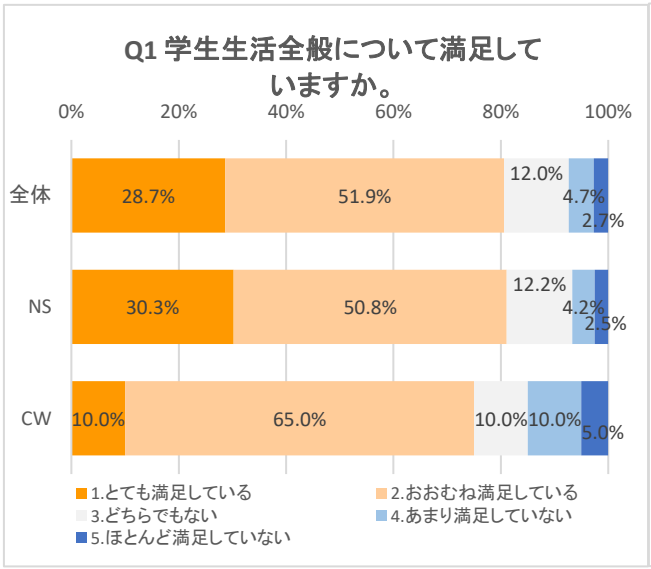
２．対象者数・回答者数及び回答率

対象者：令和７年度在学生（休学者を除く令和８年１月１日に在学している者）

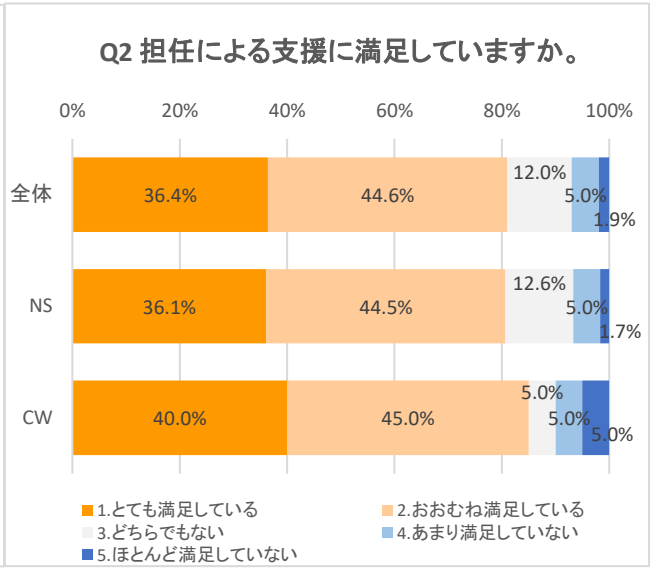
	看護学科				医療介護福祉学科				合計（内卒業予定者）
	１年次生	２年次生	３年次生（内卒業予定者）	学科計	１年次生	２年次生	３年次生（内卒業予定者）	学科計	
対象者数：人	79	85	92（84）	256	4	7	10（10）	21	277（94）
回答者数：人	76	81	81（73）	238	3	7	10（10）	20	258（83）
回答率：％	96.2	95.3	88.0（86.9）	93.0	75.0	100	100（100）	95.2	93.1（88.3）

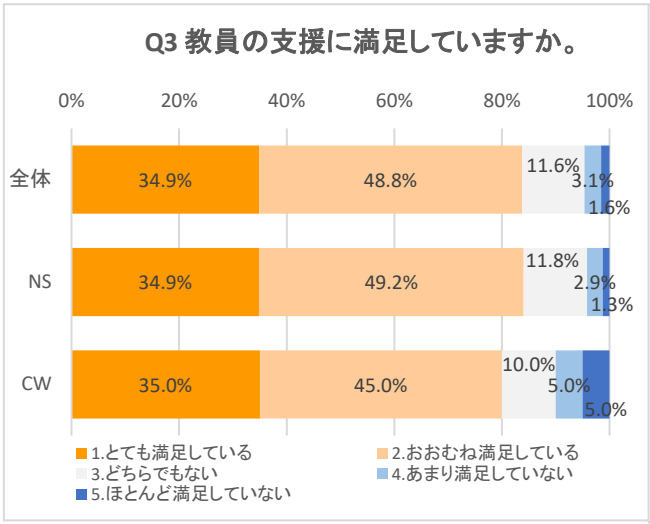
Ⅱ．アンケート結果

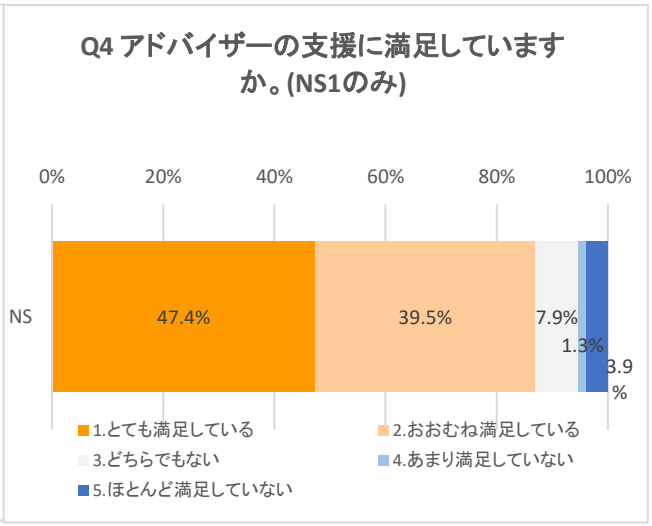
１）大学生活満足度



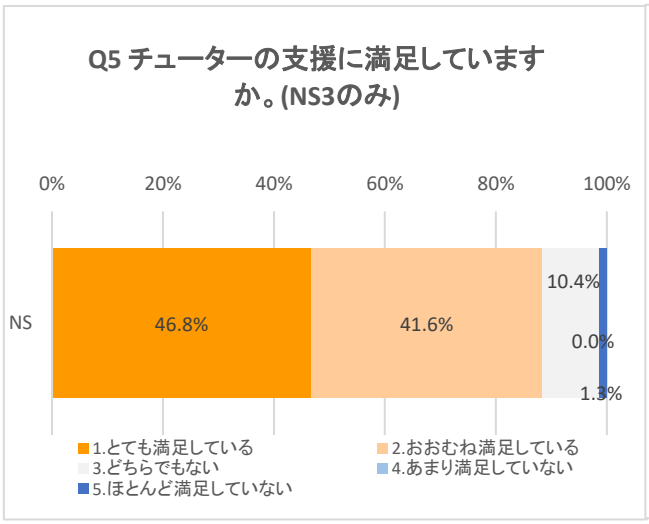
２）学科支援

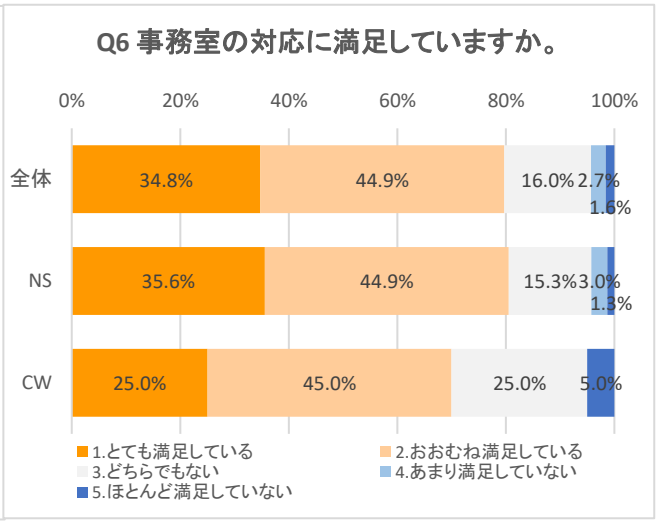




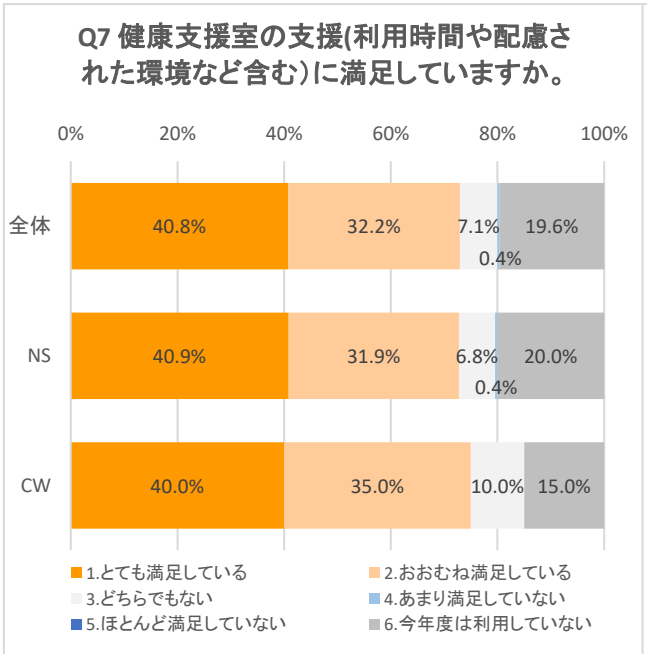


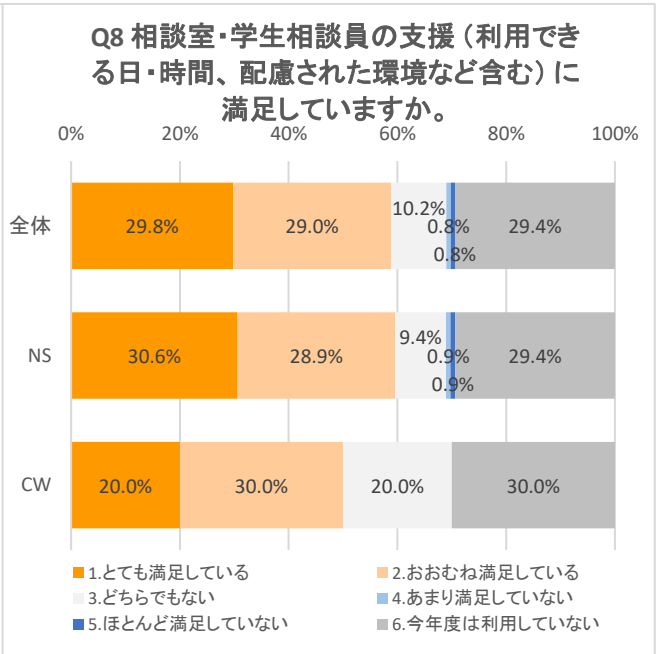
3）事務室支援





4）学生相談・健康支援

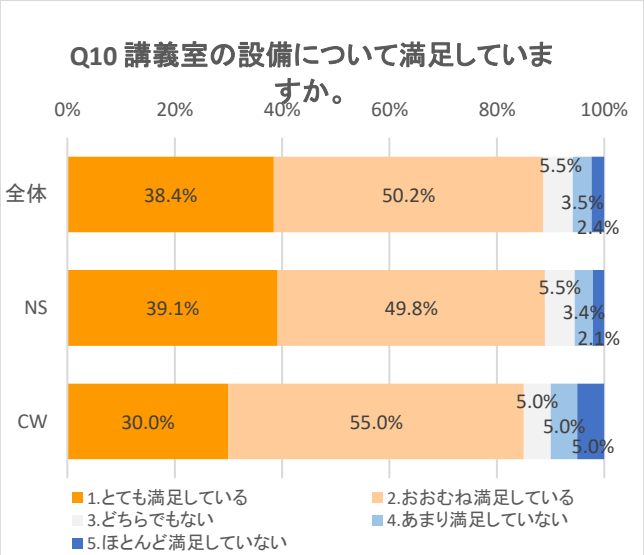


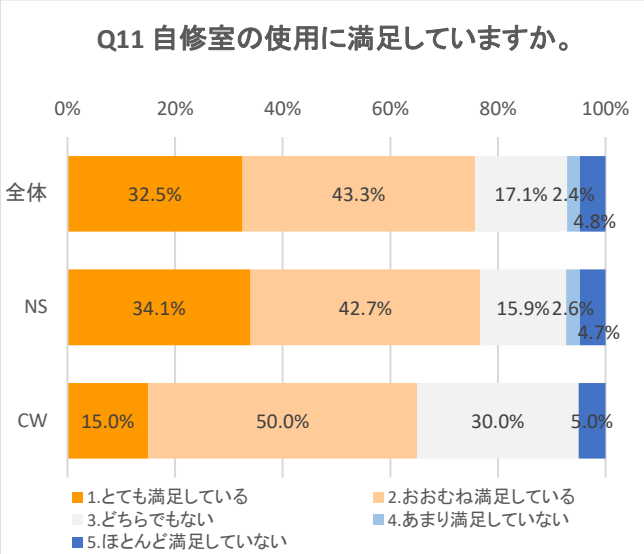


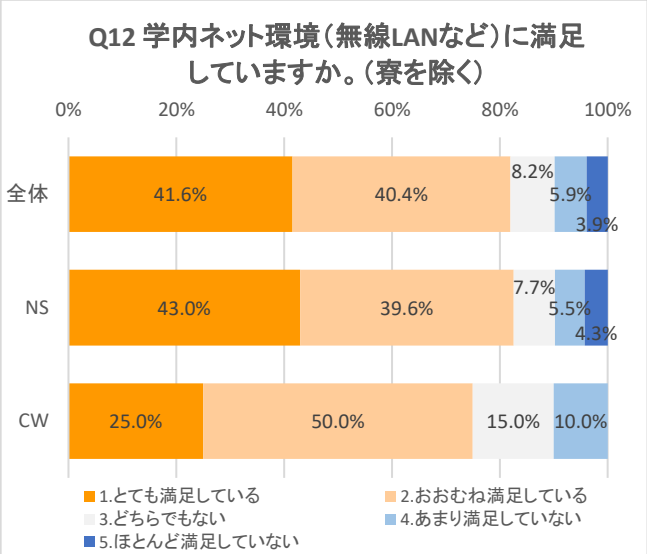
５）施設・設備

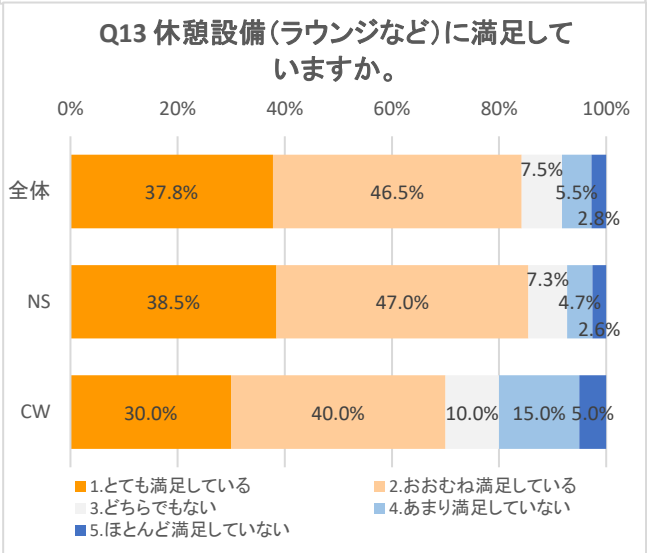
Q9　学科および事務室支援･学生相談･健康支援についての意見

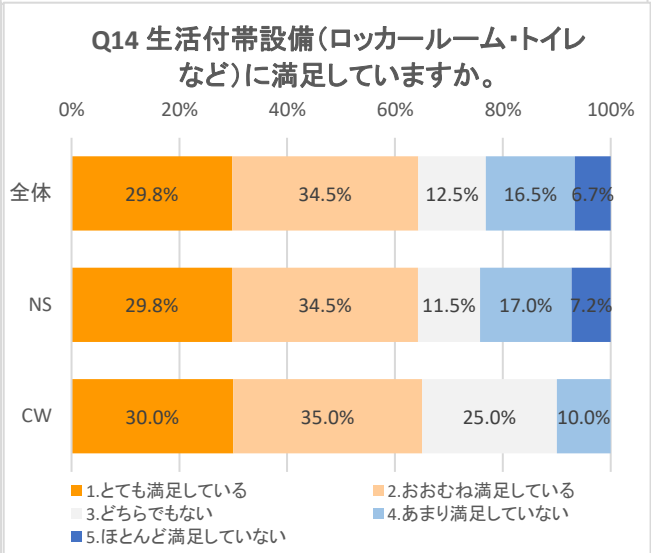
・ホームルームの所要時間を伝えるようにしてほしい（1）
・事務の方に奨学金の手続きでとても支援していただいた（1）
・eポート・WebClass を週末に見れないことがある（2）
・相談しにくい（1）
・事務室の対応が悪いときがある（1）

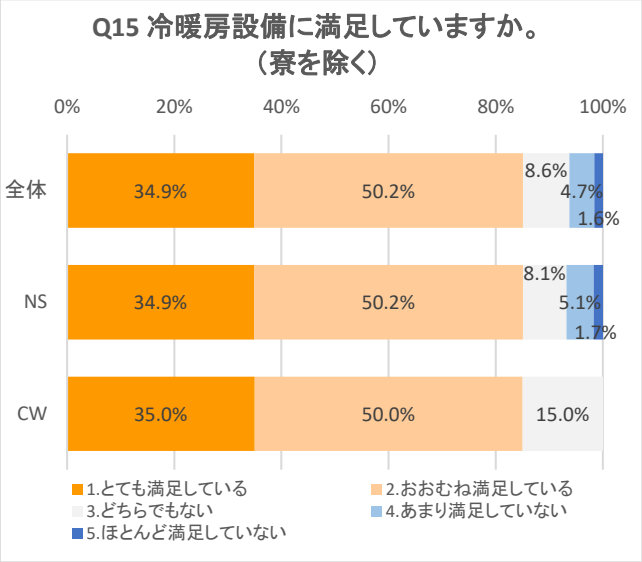


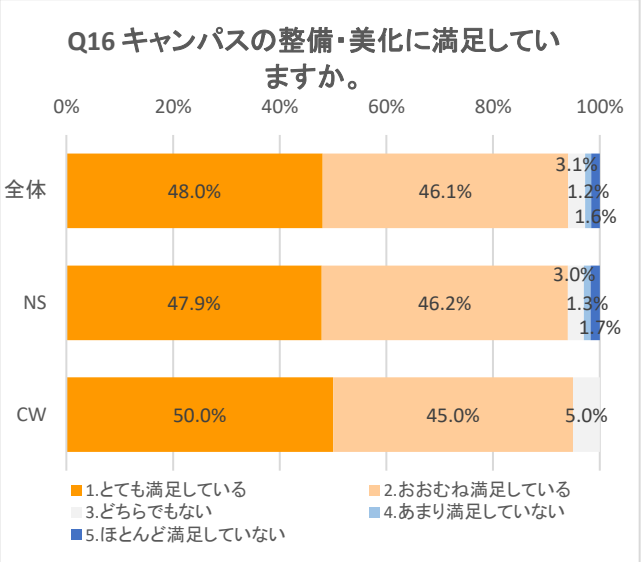




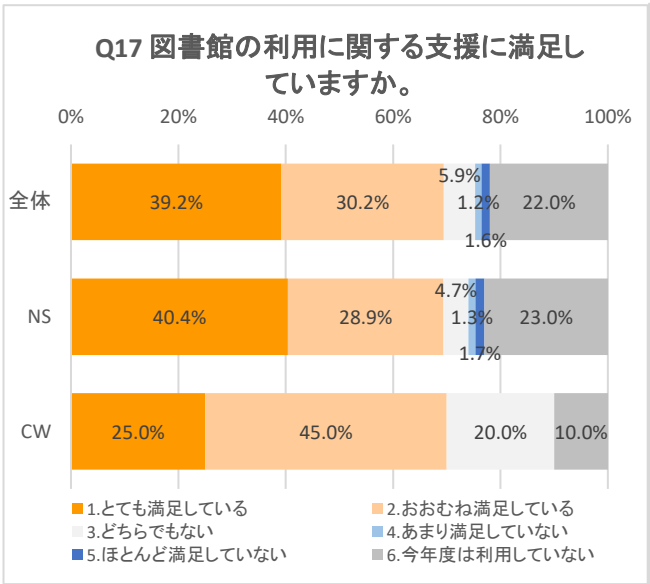




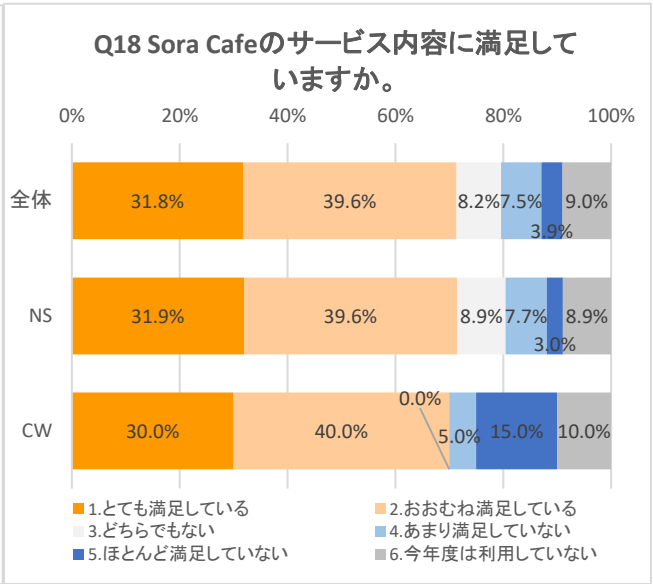

Q15 冷暖房設備に満足していますか。（寮を除く）
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体
NS
CW
34.9%
50.2%
8.6%
4.7%
1.6%
34.9%
50.2%
8.1%
5.1%
1.7%
35.0%
50.0%
15.0%
1.とても満足している
2.おおむね満足している
3.どちらでもない
4.あまり満足していない
5.ほとんど満足していない

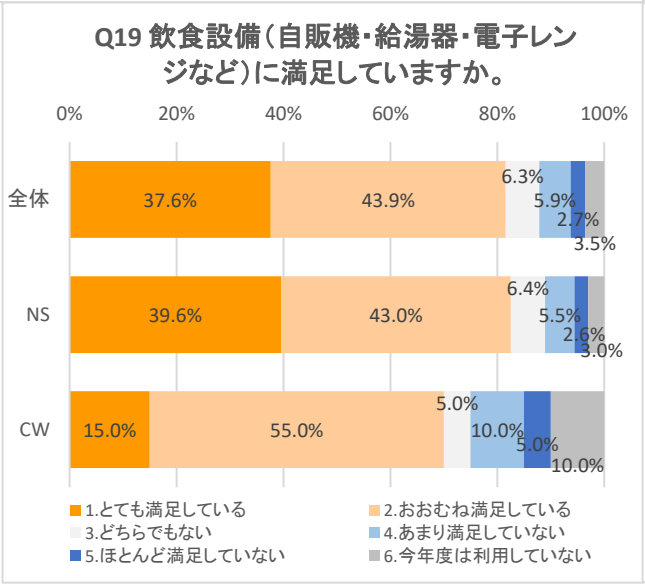

Q16 キャンパスの整備・美化に満足していますか。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体
NS
CW
48.0%
46.1%
3.1%
1.2%
1.6%
47.9%
46.2%
3.0%
1.3%
1.7%
50.0%
45.0%
5.0%
1.とても満足している
2.おおむね満足している
3.どちらでもない
4.あまり満足していない
5.ほとんど満足していない

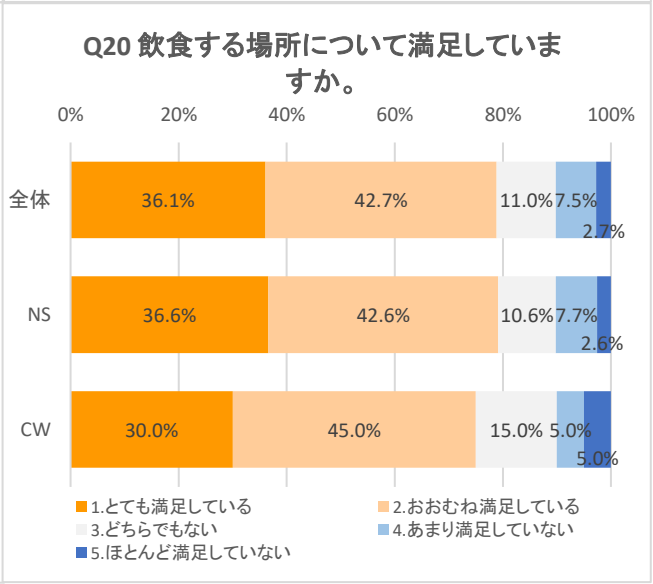
6）図書館

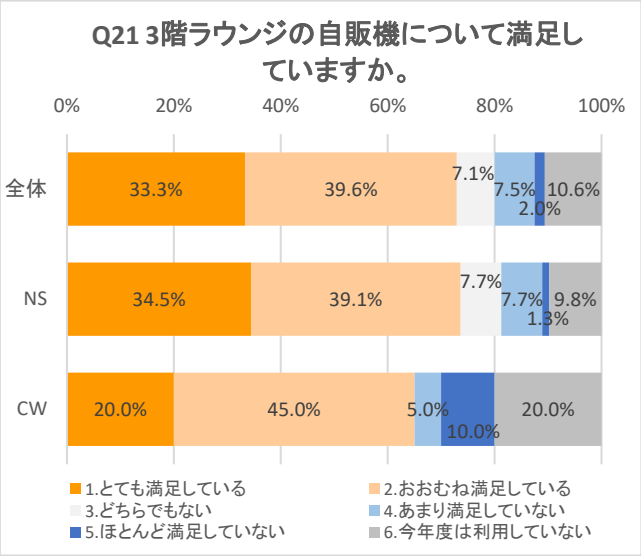

Q17 図書館の利用に関する支援に満足していますか。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体
NS
CW
39.2%
30.2%
5.9%
1.2%
1.6%
22.0%
40.4%
28.9%
4.7%
1.3%
1.7%
23.0%
25.0%
45.0%
20.0%
10.0%
1.とても満足している
2.おおむね満足している
3.どちらでもない
4.あまり満足していない
5.ほとんど満足していない
6.今年度は利用していない

7）飲食施設


Q18 Sora Cafeのサービス内容に満足していますか。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体
NS
CW
31.8%
39.6%
8.2%
7.5%
3.9%
9.0%
31.9%
39.6%
8.9%
7.7%
3.0%
8.9%
30.0%
40.0%
0.0%
5.0%
15.0%
10.0%
1.とても満足している
2.おおむね満足している
3.どちらでもない
4.あまり満足していない
5.ほとんど満足していない
6.今年度は利用していない


Q19 飲食設備（自販機・給湯器・電子レンジなど）に満足していますか。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体
NS
CW
37.6%
43.9%
6.3%
5.9%
2.7%
3.5%
39.6%
43.0%
6.4%
5.5%
2.6%
3.0%
15.0%
55.0%
5.0%
10.0%
5.0%
10.0%
1.とても満足している
2.おおむね満足している
3.どちらでもない
4.あまり満足していない
5.ほとんど満足していない
6.今年度は利用していない

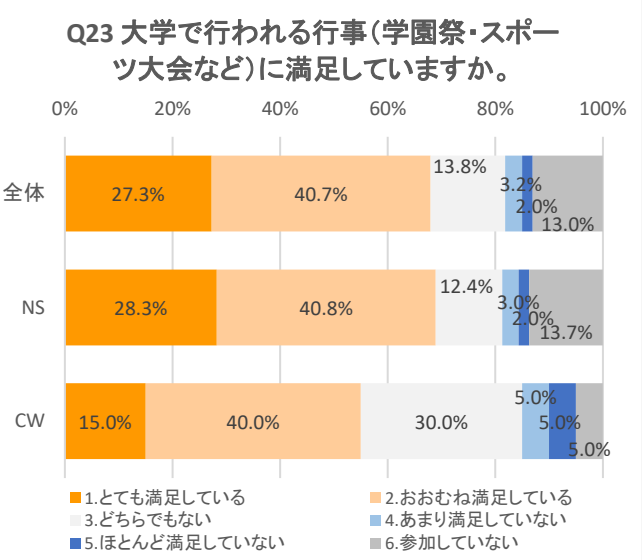

Q20 飲食する場所について満足していますか。
0%
20%
40%
60%
80%
100%
全体
NS
CW
36.1%
42.7%
11.0%
7.5%
2.7%
36.6%
42.6%
10.6%
7.7%
2.6%
30.0%
45.0%
15.0%
5.0%
5.0%
1.とても満足している
2.おおむね満足している
3.どちらでもない
4.あまり満足していない
5.ほとんど満足していない

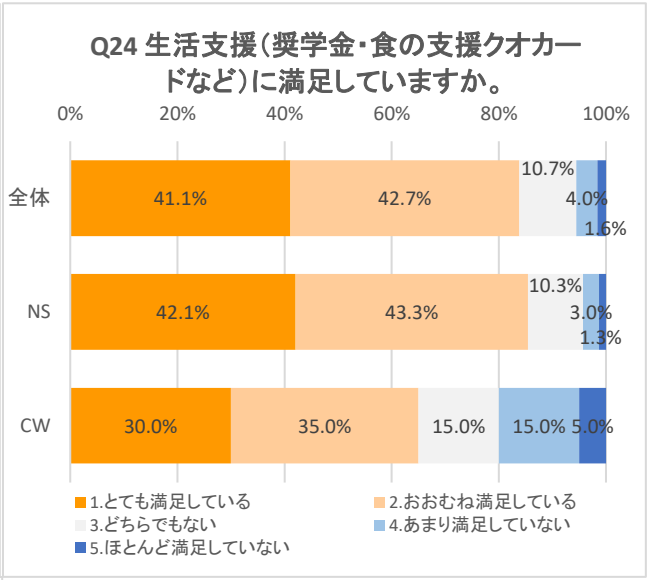


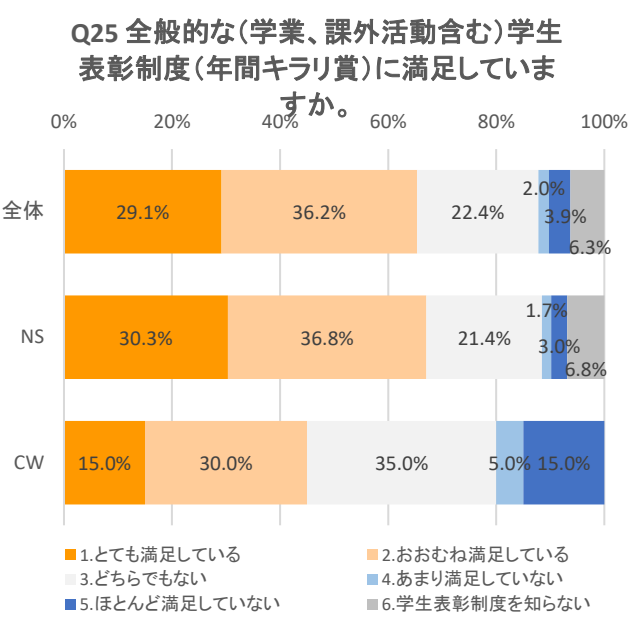
Q22 学内設備・環境についての意見

- ランチの量がもっと多いと嬉しい（5）
- ソラカフェで買えない時があるため販売数を増やしてほしい（1）
- 食事を摂るスペースを増やして欲しい（5）
- 4 階にあったかい飲み物を置いてほしい（2）
- 電子レンジを増やして欲しい（4）
- 2 階への自動販売機の導入（1）
- ロッカーが狭い（14）
- プロジェクターの音が気になる（1）
- 駐輪場に屋根をつけてほしい（1）
- 3 階自販機の現金化・内容充実の希望（5）
- 3 階のラウンジの自販機がとても便利（1）

8）その他







Q26 松島キャンパス（倉敷）生活についての意見

- 設備も古いため極力岡山で行ってほしい（1）
- 前期の体育が松島なのでお金もかかる（1）
- 遠いし大変だった（3）
- エアコンの効きが悪い（1）

Ⅲ．分析まとめ

１．看護学科

全体として、学生生活に対する満足度は 81.1％と高く、学科支援、事務支援、設備など多くの項目で８割前後の学生が満足しており、学生支援体制は概ね良好に機能していることが確認された。特にアドバイザーやチューターの支援による支援は、担当教員が担任や他の教員と連携しながら、生活面・学習面・対人関係・メンタル面・キャリア相談など多面的な支援が行われている点が高評価につながっていると考えられる。

一方で、担任・教員支援においては不満の割合が増加しており、支援の質や関わり方のばらつきが課題として示唆される。

健康支援室及び相談室は、満足度・利用率ともに大幅に増加しており、周知強化や利用方法改善の効果が確認された。特に３年次生で利用が多く、実習や進路に伴う心理的支援ニーズの高まりがみられる。

生活付帯設備については不満足の割合が相対的に高く、日常的に使用頻度の高い設備において改善ニーズが顕在化しているが、看護学科１年次生に電子教科書を導入したことによりロッカーのスペースに余裕ができたことから昨年度より満足度が 5.3％上昇したと考えられる。

図書館については、本年度利用した学生の満足度は 88.5％と高い評価が得られているが、未利用者が２割以上と多く、十分に活用されていない。図書館の活用が十分に浸透していない状況やネット上で検索する機会が増えていることが示唆される。特に低学年において利用率が低いことから、学習活動との関連性や利用方法に関する理解が十分でない可能性がある。

飲食環境については概ね評価されているが、Sora Cafe の売り切れや品揃え、飲食スペースや設備の不足などについて改善要望がみられた。

２．医療介護福祉学科

本学科の回収率は 95.2％であり、学生の状況を把握するうえで十分なデータが得られた。大学生活満足度は「とても満足」「おおむね満足」を併せて 75％と多かったが、１年次生に「あまり満足していない」、２年次生に「ほとんど満足していない」という回答が見られた。１・２年次生は大学生活への適応段階にあることから、授業や友人関係、生活リズムなど複数の要因が影響していると考えられる。また、学科支援・担任支援・教員支援においても、３年次生に１人、２年次生に１人が満足していないと回答しており、支援が必要な場面でも自分から声を上げにくい学生が一定数いることが分かった。日頃から学生の小さな変化に気づき、必要に応じて早めに声をかける体制が求められる。

学生相談・健康支援について利用学生の満足度が高かったが、「利用していない」学生もおり、相談先の存在や利用方法を周知していく必要がある。

施設・設備では、休憩設備（ラウンジ）に 70％が「満足」と回答した一方で、一部に不満も見られた。Sora Cafe では「量が少ない」との自由記述があり、食事面の改善を望む声があった。また、「カップ式の自販機の導入」「２階への自販機導入」といった要望も寄せられた。１・２年次生が２階の教室を使用していることから、日常の動線に基づく希望と考えられるが、可能な範囲での改善を検討しつつ、現状の設備の使い方についても丁寧に伝えてい

く必要がある。

図書館については満足度 70%であったが、本年度は利用していない学生が２人いた。スマートフォンで情報検索が完結しがちな状況の中でも、医療福祉分野では信頼性の高い文献に触れることが重要である。授業の中で図書館を使う機会をつくることで、活字に触れ、文章読解力の向上や集中できる学習環境の確保により学習の深まりにつながると考える。

全体として満足度は高いが、調査を通して学生一人ひとりの小さな声を丁寧に拾い、今後の改善につなげていきたい。

Ⅳ．改善点

１）学科支援における担任及び教員の支援については、昨年度と比較して「満足していない」の割合が増加している。このため、支援の質及び関わり方のばらつきがある可能性がある。今後は、「教職員のための学生支援マニュアル」の改訂を行い、支援の基本方針及び具体的対応方法の明確化を図るとともに、教職員間での共有・活用を徹底することで、支援の質の均一化及び向上を目指すものである。

２）大学で実施される行事については、満足度が相対的に低い背景として、参加率及び関与度の低さが影響していると考えられる。このため、学生が参加しやすい環境整備が必要である。今後は、授業時間割の調整等により参加機会の確保を図るとともに、行事内容の工夫や周知方法の改善を行い、学生の主体的な参加を促進し、参加率及び満足度の向上につなげるものである。

３）Sora Cafe の供給不足の問題（売り切れ、販売数不足）については、時間割から昼食をはさむ学生の概数を Sora Cafe 担当者に伝え準備数の調整を依頼する。また、温かい飲み物の設置希望に対しても検討する。